

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 総合学科としての特色ある教育活動を行っていますか。	① 進学型総合学科としての教育課程に、満足している生徒が80%以上である。	・選択科目及び群編成を検証し、総合学科の特色を生かした、進学型の教育課程になるよう更に改善を図る。	B	A	B	・生徒の多様な進路希望に対応できる総合学科の特性を生かし、単なる進学型にとどまらない教育課程の編成が必要である。新しい教育課程を3年間実施する中で課題も明確になってきたため、各方面からの意見を集約し、前橋東高校らしい特色ある教育課程の編成を進めていく。 ・生徒の学習意欲を育てる授業を目指し、引き続き授業改善に努める。教員間での学期ごとの授業参観の機会を設け、効果的な指導方法について情報を共有し、改善に取り組む。	・部活動の活躍や進学実績が素晴らしく、教職員の方々の熱心な指導の成果が感じられる。 ・学校評価アンケート問3「自分は前橋東高校が好きだと感じている」に肯定的な生徒が少ないことが気になる。この要因について考察をしてほしい。	
		② 習熟度別・少人数制の授業形態に、満足している生徒が80%以上である。	・習熟度別授業等、効果的な指導を推進するとともに、主体的・対話的視点から授業改善を図る。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③ 「授業が分かりやすい」と、評価している生徒が80%以上である	・双方向授業を推進し、学力の定着を確認しながら、生徒が主体的・能動的に授業に取り組める授業を展開する。	A	A	A	・生徒が学びの振り返りを通じて学力の定着を確認するだけでなく、主体的な学びへとつながる授業を展開する。家庭学習の充実につながる授業についても教職員全体で取り組む。 ・新しい教育課程が一巡したことを踏まえ、教科・科目の学習内容や目標について継続すべきものは維持し、見直しが必要な部分は改善を行うことで、生徒が明確な目標を持ち自律的に学習に取り組める環境を整える。 ・ICT機器の活用はほとんどの授業で行われていることがアンケートから確認された。さらに効果的な活用を目指し、授業公開や授業研究などの教員研修の機会を充実させることが課題である。 ・教科内だけでなく、教科間でも情報共有を深め、生徒の進路希望に応じた指導を強化する。	・生徒主体の学びが進んでおり、今後も継続してほしい。 ・アンケート結果からも、ICTを活用した授業展開が行われていることがうかがえる。 ・一方で、従来の紙面や黒板を活用した授業の良さも踏まえ、ICTとの効果的な融合を目指した授業改善を引き続き模索してほしい。 ・学習への取組に関するアンケートでは、達成度に対する生徒と保護者・教員の間で意識のずれが見られる可能性がある。この点を踏まえて生徒に対する働きかけの工夫が求められる。	
		④ 進路実現に向けた学習指導が実践されていると評価している生徒が、80%以上である。	・授業目標の明確化を図るとともに、生徒が明確な達成目標を持って学習に取り組めるよう指導する。	A	A	A			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤ 授業改善のため、教科の枠を超えて研究授業、授業公開、授業研究等を年2回以上実施する。	・ICTを活用した授業、生徒の実態に応じた柔軟な授業展開、適切な評価等の観点から授業改善を行う。	B	A	B			
		⑥ 本校の学習指導は、進路実現に役立つと答えている生徒が80%以上である。	・教科・科目の目標を確実に達成するとともに、各生徒の進路希望を踏まえ、個に応じた指導を一層推進する。	A	A	A			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦ 生徒会活動が充実していると評価した生徒が、80%以上である。	・生徒会行事に実行委員会を設置し、生徒会役員と連携を図りながら、生徒の主体的な活動を促進する。	A	A	A	・生徒会役員・顧問を中心に、6月の体育祭や10月の球技大会を企画・運営し、特に体育祭では初めて生徒主体の実行委員会を設置するなど、成功を収めた。 ・26部（文化部10、運動部16）あり、85%以上の生徒が入部している。関東出場：カヌー、バレー女子、陸上、柔道、吹奏楽、放送、少林寺拳法、将棋 全国出場：カヌー、陸上、放送、少林寺拳法 ・学期初めの二者面談や年5回の生活アンケートを通じ、いじめの早期発見に努めた。LHRではいじめ防止について生徒が主体的にクラスごとに話し合い、その取り組みを生徒総会で共有した。 ・4～12月の欠席率は昨年度同様2.6%であり、目標の3%以下は維持したが、一昨年度の同時期（1.9%）と比較して増加しているため、具体的な要因の分析と対策が必要である。 ・今年度から女子の靴下について規定を改訂したが、新しい既定の遵守について職員からの指導だけでなく生徒会からも呼びかけを行い、生徒が主体となって規範意識の向上にも努めた。	・体育祭では、クラス代表とは別に実行委員会を立ち上げ、クラス横断的な業務に取り組むなど、生徒の自主性を育てる取組が素晴らしい。 ・部活動については、運動部・文化部ともに熱心な様子うかがえ、関東大会や全国大会への出場を達成しているのは大変素晴らしい。 ・コロナ禍の影響で、生徒が欠席する心理的ハードルが下がったといわれるが、欠席が続くと復帰が難しくなることも事実である。引き続き、生徒への様々なケアを大切にしてほしい。 ・保護者からは「安心して任せられる学校」との評価があり、その信頼感が感じられる。 ・女子の靴下の校則改定について、生徒の要望を受けて対応したことは評価に値する。	
		⑧ 部活動が充実していると評価している生徒が80%以上である。	・本校の部活動方針に基づき、適切な運営を実施するとともに、技術・技能だけでなく人間性を高める工夫をする。	A	A	A			
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	⑨ 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていると認識している生徒が80%以上である。	・日々の観察と定期的アンケートにより状況を把握し速やかに対応するとともに、集会等によりいじめ防止の啓発を行う。	A	A	A			
		⑩ 欠席率が3%以下である。	・連続して欠席した生徒に対しては、担任を中心に生徒の実態を把握し、学年と教育相談係が連携して対応する。	B	-	B			
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	11 本校は規律ある学校だと評価している生徒が80%以上である。	⑪ 本校は規律ある学校だと評価している生徒が80%以上である。	・常日頃から基本的生活習慣の重要性を生徒に理解させるとともに、生活習慣の乱れを見逃さずに指導する。	A	A			A
			⑫ 進路プランニングⅠ・Ⅱ・Ⅲに積極的に取り組んだと自己評価している生徒が80%以上である。	・進路プランニングを通して探究活動を推進し、知識や技能を身につかせ、思考力・判断力・表現力を高めるとともに、生徒それぞれの実践力の向上を図る。	B	B			B
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑬ 学校から提供される進路情報が役立っていると評価している生徒が、80%以上である。	・進路実現に対する意欲を高められるよう、生徒に有用な情報を収集して資料作成や講演に生かす。「進路の手引」を進路指導や面談等において積極的に活用する。	A	A	A	・学校アンケートで「進路プランニングの授業に積極的に取り組んでいる」との回答は、生徒91%、保護者88%、職員81%だった。進路プランニング活動は社会課題の解決を目指す重要な学習活動であり、引き続きその意図や意義を職員、保護者、地域に発信する必要がある。 ・提供される進路情報について「役立っている」との評価は、生徒・保護者ともに80%を超え、前年の保護者評価75%から改善が見られた。 ・「進路実現に向け積極的に取り組んでいるか」という問いに、生徒の90%が肯定する一方、保護者は77%にとどまった。保護者の間では学習時間不足が懸念されており、学習時間の確保に向けた意識改革を進める必要がある。		
		⑭ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が、70%以上である。	・進路実現に向けて、生徒一人ひとりの成果と課題を明確にする。また、面談等を通して、進路実現を図るための具体的な指導を計画的に行う。	A	B	B			
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮ 本校のホームページには必要な情報が掲載されていると評価している保護者が70%以上である。	・保護者のニーズを的確に把握したうえで作成するとともに、教育活動の成果や緊急の連絡等は即時性を高める。 ・各種行事や部活動等の様子や成果をより効果的に外部へ届けるため、動画コンテンツ等の拡充を図る。	A	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑯ 本校のホームページには必要な情報が掲載されていると評価している保護者が70%以上である。	・保護者のニーズを的確に把握したうえで作成するとともに、教育活動の成果や緊急の連絡等は即時性を高める。 ・各種行事や部活動等の様子や成果をより効果的に外部へ届けるため、動画コンテンツ等の拡充を図る。	A	A	A	・公式YouTubeコンテンツは大変楽しめた。その上で、閲覧者のターゲット層を意識し、より効果的な内容を工夫してほしい。		
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯ ICTを使用して指導している教科が100%である。	・職員研修を実施する等、職員がICTを使用して指導する場面及び、授業改善のための情報交換の場を設定する。	A	A	A	・ICTの活用については大変高い活用実績となっている。 ・ICTを使うことが当たり前になってきたからこそ、その利用の仕方についてもさらに良い方向に進められるよう検討してほしい。 ・働き方改革を踏まえて、ICTの有効活用の学習活用だけではなく、業務効率にむけても、引き続きICTの有効活用を進めてほしい。		
		⑰ ICTを使用して授業や進路学習に取り組んでいると思う生徒が90%以上である。	・課題や補習、授業中の取組や進路プランニングの授業等で、ICTの使用が必要な場面を積極的に設定する。	A	A	A			
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑱ すく〜るねっと3やGoogleワークスペース、kinaka、Chromebook等を使用した業務改善を進めている職員が80%以上である。	・教職員間の情報共有を促し、ICTを活用した業務の効率化、作業時間短縮化等を図る。	A	A	A			